■岡本太郎　　岡本かの子の血を受けて天衣無縫に生き，独特な前衛芸術活動を展開して社会に衝撃を与えた。万博の"太陽の塔"。
おかもとたろう
大逆事件判決1911＝　　東京青山で，_漫画家岡本一平と歌人で小説家の岡本かの子の長男に生まれる。
明治天皇没・1912＝ 1歳：この年，父一平が朝日新聞社に入社。

母の愛人も同居する特異な両親と暮らす緑豊かな青山と，祖父可亭(書家)の住む江戸時代さながらの下町・京橋といった異質の世界を往復しながら育ち，

ロシア革命・1917＝ 6歳：青南小学校に入学するも，教師の権威主義な態度に反抗，すぐに退学，転校を3回繰返した後，
本格政党内閣1918＝ 7歳：慶応幼稚舎普通部に入学して落着き，寄宿舎に入る。

大暴落・・・1920＝ 9歳：
原敬首相暗殺1921＝10歳：

治安維持法・1925＝14歳：同級生による同人誌に，「敗惨の嘆き」を制作。

世界恐慌・・1929＝18歳：卒業し，_東京美術学校に入学したが中退し，両親・同居人とともに渡欧。
海軍軍縮条約1930＝19歳：パリを拠点に両親と別行動，ヨーロッパ文化にひたむきに身を投げかける。
満州事変・・1931＝20歳：パリ郊外の私立学校寄宿舎でフランス人と寝食をともにして，パリ大学で聴講するなどし，
五一五事件・1932＝21歳：_両親の帰国後も，パリに残り，ピカソの作品に接して衝撃受け，抽象画の道を決意，
国際連盟脱退1933＝22歳：アプストラクシオン・クレアシオン協会に最年少で参加，*サロン・デ・シュール・アンデパンダン展に「空間」を発表し，批評家モーリス・レイナルらの称賛を浴びる。
二二六事件・1936＝25歳：ネオ・コンクレティスムを提唱。純粋抽象に飽きたらず，_「傷ましき腕」を発表，
日中戦争始・1937＝26歳：協会脱退。_初の画集「OKAMOTO」で，「傷ましき腕」がアンドレ・ブルトンに評価される。
健保+総動員 1938＝27歳：_第1回国際シュルレアリスム・パリ展に「傷ましき腕」が招待出品。パリ大学で，マルセル・モースに民族学ほか，哲学・社会学学んで，
第二次大戦始1939＝28歳：この年，母かの子が死去。_卒業。ジョルジュ・バタイユを中心に組織されたコレージュ・ド・ソシオロジーに参加。秘密結社まで結成し，緊密な知的交友を結ぶ。
大政翼賛会・1940＝29歳：*ドイツ軍のパリ侵攻で脱出し，最後の引揚げ船で，帰国。
日米開戦・・1941＝30歳：_二科展に滞欧作品を特別出品。銀座三越にて個展も開く。
・・・・・・1942＝31歳：召集され，

中国を転戦。パリ帰りの自由主義者として目の敵にされながらも，生き残り，
敗戦・・・・1945＝34歳：
新憲法公布・1946＝35歳：捕虜生活を経て，復員。戦火で自宅とともに作品全てを焼失したことを知る。父の疎開先ほか転々とし，
新憲法施行・1947＝36歳：*権威を猛烈に拒むアヴァンギャルドとして，絵画制作を始め，「夜」「憂愁」を発表。東京新聞の坂口安吾の連載小説の挿絵を担当。文筆活動・講演など，広く社会に問題を提起。戦後の象徴的な人間像となる。
極東裁判決・1948＝37歳：父一平が死去し，家族を引き取る。_花田清輝を知り，ともにアヴァンギャルド芸術研究会{夜の会}組織。
三大事件・・1949＝38歳：第1回日本アンデパンダン展に「赤い兎」，二科展に「重工業」を出品。「新しい芸術の探求」出版。
朝鮮戦争始・1950＝39歳：「現代絵画の15人展」で，モダン・アートの代表としての決定的評価を得る。
独立回復・・1951＝40歳：_日本橋三越で，戦後の作品集めた「岡本太郎展」が開催される。国立博物館で縄文土器に衝撃を受け，
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝41歳：_{みづゑ}に「縄文土器論」発表。モザイクタイルによる壁画制作を始め，「太陽の神話」に続き，地下鉄日本橋駅に「創生」を制作。日劇ミュージックホールの柿落とし「東京のイヴ」で美術を担当。パリのサロン・ド・メ展に「夜明け」「堕天使」出品，ヨーロッパを再訪し，旧交を暖める。
TV放送始・・1953＝42歳：_パリ・ニューヨーク・ワシントンで個展開催。国際アート・クラブ日本支部結成で代表に推される。第2回サンパウロ・ビエンナーレに日本代表として出品。テレビに初出演。「青春ピカソ」出版。
自衛隊発足・1954＝43歳：_現代芸術研究所を創設。「今日の芸術」出版し，ベストセラーになる。
国連加盟・・1956＝45歳：_丹下健三設計の旧東京都庁舎に「日の壁」「月の壁」など，11面の陶板レリーフ壁画を制作。アート・クラブ主催で，「世界・今日の美術展」開催し，世界のアーティストを紹介。「日本の伝統」出版。
ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝47歳：_都庁壁画で，国際建築絵画大賞(フランス)受賞。東京国立競技場での野外オペラ「ローエングリーン」の美術担当(演出は武智鉄二)。沖縄に旅行し，
安保闘争・・1960＝49歳：_{中央公論}に「沖縄文化論」連載，
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝50歳：_「忘れられた日本」と題して刊行され，毎日出版文化賞。スキーで足を骨折すると，彫刻「あし」を制作。二科会を脱退して，活動分野はさらに広がり，
全国総合計画1962＝51歳：川崎市の多摩川河畔に岡本かの子文学碑「誇り」をつくる。
東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964＝53歳：東京オリンピック参加記念メダルを制作。国立屋内競技場に，7面の陶板レリーフとモザイク壁画を完成。
大学紛争始・1965＝54歳：{週刊朝日}に「岡本太郎の眼」連載。名古屋の久国寺に「梵鐘・歓喜」をつくる。
いざなぎ景気1966＝55歳：ベ平連の「ベトナムに平和を！日米市民会議」に参加。数寄屋橋公園に「若い時計台」を制作。
美濃部都知事1967＝56歳：_大阪の万国博のテーマ展示プロデューサーとなり，
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝57歳：_メキシコで，大壁画「明日の神話」制作に着手後，
大阪万博・・1970＝59歳：_シンボル・ゾーン「太陽の塔」を制作して賛否の論議の的となる。{芸術新潮}に「わが世界美術史」連載し，
日中国交回復1972＝61歳：ミュンヘン・オリンピックの公式メダル制作。_「美の呪力」として刊行。
石油ショック1973＝62歳：飛行船に絵を描く。
角栄金脈辞任1974＝63歳：_パリで発行の世界の現代作家版画集が刊行され，カンディンスキーらと並んで30人の一人
ｸｱﾗﾝﾌﾟｰﾙ事件1975＝64歳：_パリ大学民族学教授ジャン・ルーシュのインタビューと撮影「岡本太郎～マルセル・モースの肖像」がイタリアのアゾロ映画祭で伝記大賞。パリ国際センターのパレ・デ・コングレに5面のレリーフ壁画制作。
田中角栄逮捕1976＝65歳：_仏語訳「美の呪力」出版，パリで岡本太郎展が開催，記念の画集も出版。顔のグラス制作，テレビCM出演。'グラスの底に顔があってもいいじゃないか'が流行語となる。
成田衝突・・1978＝66歳：_スペイン国立版画院に，日本人で初めて銅版画が収蔵される。
革新大敗北・1979＝68歳：{週刊プレイボーイ}に「人生相談・にらめっこ問答」連載。_作品集「岡本太郎」出版。
・・・・・・1981＝70歳：「遊ぶ字」出版。原色鮮やかな「鯉のぼり」発売。山梨県立美術館などで大個展開催。_テレビCMでの'芸術は爆発だ！'が流行語大賞に。
中曽根内閣・1982＝71歳：青森三沢の古牧温泉にシンボル「こどもの樹」制作。「美の世界旅行」出版。
ﾃﾞｨｽﾞﾆｰﾗﾝﾄﾞ 1983＝72歳：山形県の観光スキー宣伝映画に出演。
・・・・・・1984＝73歳：_フランス芸術文化勲章。
ｼﾞｬﾝﾎﾞ機墜落1985＝74歳：東京青山のこどもの城のモニュメント制作。イギリスでの「日本の前衛芸術展」に出品。
バブル始・・1986＝75歳：日本テレビ{テレモンジャ}にレギュラー出演。
竹下登内閣・1987＝76歳：NHKドラマ「ばら色の人生」に俳優としてレギュラー出演するなど，_テレビ・タレントとしても活躍。
ﾘｸﾙｰﾄ事件・ 1988＝77歳：「自分の中に毒を持て」出版。岐阜未来博のモニュメント「未来を拓く」制作。_テレビCMに出演し，
昭和天皇没・1989＝78歳：_アメリカの国際放送広告賞。再び，フランス芸術文化勲章。
ソ連崩壊・・1991＝80歳：_十二指腸潰瘍で入院。自作352点(500億円相当)を川崎市に寄贈し，のち，岡本太郎美術館が開館。
バブル崩壊・1992＝81歳：{美術手帖}で「岡本太郎特集」。
55年体制終・1993＝82歳：浦安市運動公園にシンボル・モニュメント「躍動の門」「五大陸」を完成。*歴程賞。この年の制作を最後に，
自社さ連立・1994＝83歳：三重県の世界祝祭博覧会のモニュメント「であい」完成。東京ワタリウム美術館で大作「哄笑」を発表。
・・・・・・1996＝85歳：奥入瀬渓流のホテルの暖炉彫刻「河神」遺作に，_パーキンソン病による急性呼吸不全で，没した。

「岡本太郎 歓喜」，XKAWADE夢ﾑｯｸ「岡本太郎」，「この人どんな人」，平凡社百科事典，「目でみる日本人物百科」，インターネット，